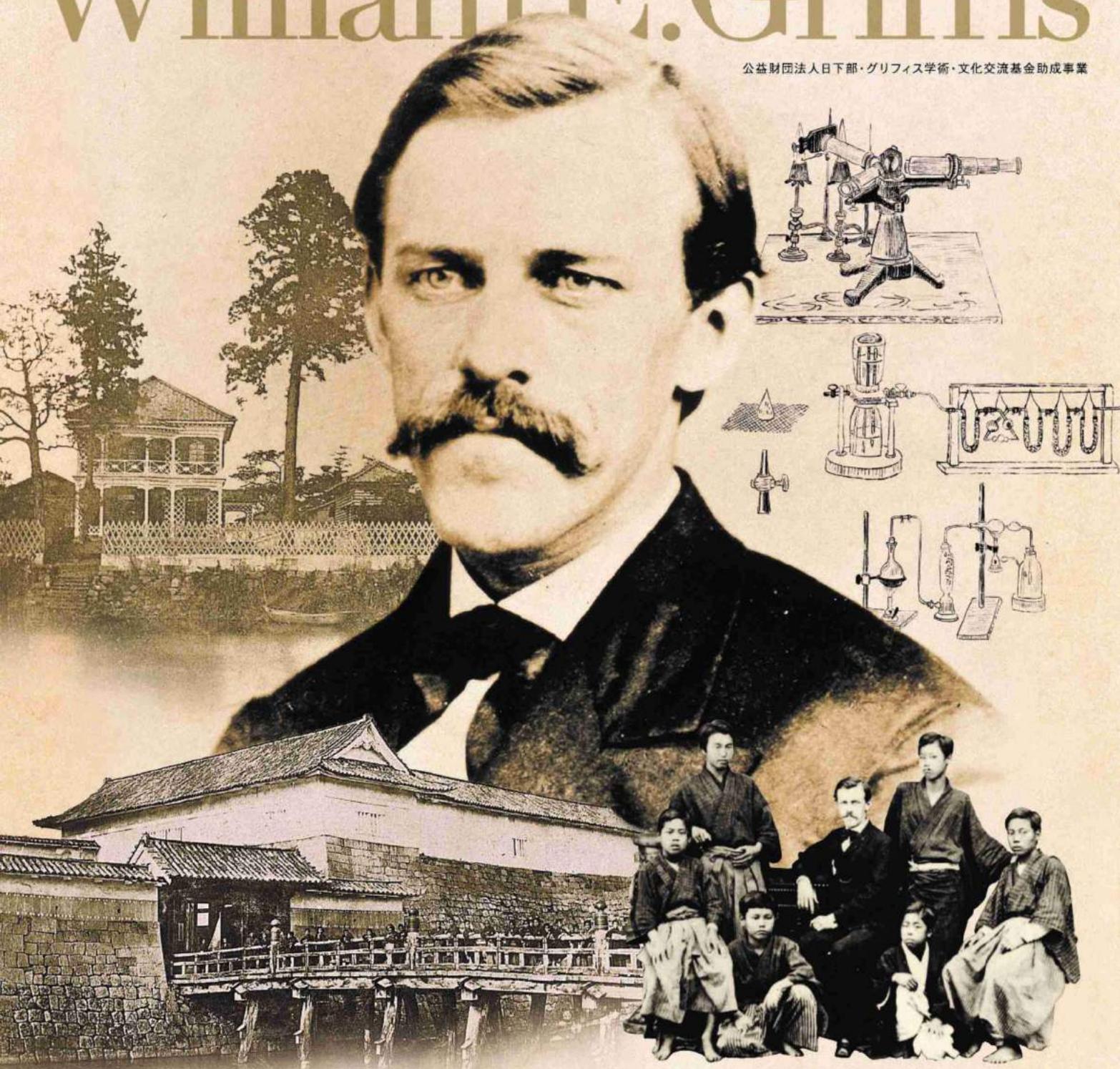


William F. Griffis

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金助成事業



グリフィス来福150周年記念・令和3年春季特別展

グリフィスが見た明治の福井

THE MIKADO'S EMPIRE

3月20日(土)~5月5日(水)

福井市立郷土歴史博物館



観覧料 大人700円 高大生500円 / 開館時間 午前9時~午後7時 ※中学生以下、70歳以上、障がい者とその介助者は無料、20名以上の団体は2割引
 ※入館は閉館の30分前まで ※4月12日(月)は休館

■共催 福井新聞社 ■後援 NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、福井街角放送 〒910-0004 福井市宝永3-12-1 TEL.0776(21)0489 ✉ kyoudo@city.fukui.lg.jp

【写真写真】 左上:グリフィス書館(福井市香樹公記念文庫) 右上:スロイス「命案学」(金沢市立玉川図書館近世史料館) 左中:福井城御本陣機と明新館の生徒たち(福井市香樹公記念文庫) 右中:グリフィスと福井の生徒たち(当館蔵) 左下:松平春嶽、日下部太郎(当館蔵) 右下:津影朱澤徳カメラ(当館蔵)

令和3年(2021)は、お雇い外国人として来日し、福井藩校明新館で最先端の化学知識や英語を教授したウィリアム・エリオット・グリフィスが福井を訪れてから150年の節目にあたります。グリフィスは明新館で多くの優秀な後進を育てるとともに、帰国後は廃藩置県によって変わりゆく福井の姿を、自らの体験とともに著書『皇国』(原題:The Mikado's Empire)でアメリカの人々に紹介しました。戦前では当時屈指の日本学者であったグリフィスの原点は、福井にあったといえるでしょう。

本展では、グリフィスの生涯と福井での足跡を振り返るとともに、由利公正や日下部太郎をはじめとした福井出身の友人や生徒たちにも注目し、明治福井を舞台にした国際交流の姿を描きます。

【第4章】 福井との絆

【第3章】 若きグリフィスと福井での日々

【第2章】 アメリカとの出会い
 ↳ 佐々木長淳・日下部太郎

【第1章】 福井人がみた「異国」



▲左から村田氏寿、佐々木長淳、由利公正(当館蔵)
 ▼日下部太郎受贈のゴールド・キー「Φ・B・K」(当館蔵)



福井城内にあったグリフィスの化学実験所(当館蔵)▲
 松平春嶽所用の科学器械類(福井市春嶽公記念文庫)▼



記念講演会 定員30名 要予約

グリフィスの来福150周年に当たって

4月3日(土) 博物館2F講堂にて
 時間:14:00~15:30
 講師:細谷龍平氏
 (福井大学国際地域学部 特任教授)
 参加費:100円(資料代)

上映会 各回定員20名 要予約

日下部太郎とグリフィスから学ぶ
 ~国際交流の原点を探る~
 (2002年、FBC制作)
 3月27日(土)、4月17日(土)、5月1日(土)
 時間:①10:00~10:30、②14:00~14:30
 場所:博物館2階講堂



松平家の人々とグリフィス(当館蔵) 背景:1878年のラトガニス大学を描いた銅版画(複製、当館蔵)

見どころ講座 各回定員20名 要予約

担当学芸員による展示解説 博物館2F講堂にて
 3月21日(日)、4月10日(土)、4月29日(木・祝)、5月4日(火・休)
 時間:14:00~15:00 講師:当館学芸員 山田裕輝

福井市立郷土歴史博物館

福井市 郷土 検索

〒910-0004 福井市宝永3-12-1
 TEL.0776(21)0489



※いずれも新型コロナウイルス感染症対策等により変更となる場合があります。
 ※イベントへの申し込み方法は当館HPをご覧ください。